

3. 工作物

景観誘導基準	チェックポイント	チェック	備考
1. 周辺との調和に配慮する	(a)敷地の条件、建物の特性を活かし、ゆとりや広がり確保に努める		
	(b)周辺のまちなみや建物と調和する色彩の使用に努める		
	(c)維持管理を考慮した素材を用いる		
2. 圧迫感の低減に努める	(a)素材、形態、色彩などを工夫する		
	(b)周辺に緑化を施す		
3. 色彩は別表2による			

4. 開発行為

景観誘導基準	チェックポイント	チェック	備考
1. 周辺との調和に努める	(a)地形や斜面緑地などの保全に努める		
	(b)ゆとりを感じさせる計画に努める		
	(c)無電柱化に努める		
	(d)擁壁等は自然素材を活かす、緑化するなどの工夫をする		
	(e)潤いがあり、魅力の感じられる敷際にする		
	(f)予定建築物等がそれぞれの景観誘導基準に基づいたものとなるよう造成計画や公共施設の配置を計画する		
2. 緑の保全と育成に努める	(a)敷地内に生育する樹木は保全するよう努め、やむを得ず伐採するときは必要最小限にとどめる		
	(b)敷地内に樹形が優れた樹木がある場合は計画に活かすよう配慮する		